

注3

大学番号：私300

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

金城大学 医療健康学部 作業療法学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人金城学園  
平成25年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総務部

職名・氏名 シュサ サカグチ ケンジ  
主査・坂口 憲二

電話番号 076-276-4400

（夜間） 076-276-4400

F A X 076-275-4316

e-mail sakaguti@kinjo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

<b>1</b>	<b>調査対象大学等の概要等</b>	<b>1</b>
	(1) 設置者	1
	(2) 大学名	1
	(3) 大学の位置	1
	(4) 管理運営組織	1
	(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等	2
<b>2</b>	<b>授業科目の概要</b>	<b>5</b>
	(1) 授業科目表	5
	(2) 授業科目数	8
	(3) 未開講科目	9
	(4) 廃止科目	9
	(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」 及び「学生への周知方法」	9
	(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する 「未開講科目と廃止科目の計」の割合	9
<b>3</b>	<b>施設・設備の整備状況, 経費</b>	<b>10</b>
<b>4</b>	<b>既設大学等の状況</b>	<b>11</b>
<b>5</b>	<b>教員組織の状況</b>	<b>12</b>
	(1) 担当教員表	12
	(2) 専任教員数	17
	(3) 専任教員辞任等の理由	18
	(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	18
<b>6</b>	<b>留意事項に対する履行状況等</b>	<b>19</b>
<b>7</b>	<b>その他全般的事項</b>	<b>20</b>
	(1) 設置計画変更事項等	20
	(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)	20
	(3) 自己点検・評価等に関する事項	21
	(4) 情報公表に関する事項	21
	添付資料1	22
	添付資料2	25
	添付資料3	26

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学 校 法 人 金 城 学 園

## (2) 大学名

金 城 大 学

## (3) 大学の位置

〒924-8511  
石川県白山市笠間町1200番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カトウ アキラ) 加 藤 晃 (昭和40年9月)		
学 長	(ナラ イサオ) 奈 良 勲 (平成24年4月)		
学 部 長	(ナラ イサオ) 奈 良 勲 (平成24年4月)		
学 科 長 等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
医療健康学部 作業療法学科 学士(作業療法学)	4年	35人	— 年次人	140人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	35 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	1. 17倍	
志願者数	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	183 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]		
受験者数	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	182 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]		
合格者数	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	78 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]		
B 入学者数	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	41 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	—		—		—		1. 17倍			

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ 0 ] 41	[ - ] -			
2年次	/		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -			
3年次			/		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -		
4年次	/				[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -		
計			[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ 0 ] 41		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	— 人	— 人	平成22年度	人	人		— %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	— 人	— 人	平成23年度	人	人		— %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	— 人	— 人	平成24年度	人	人		— %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	41 人	0 人	平成25年度	0 人	— 人		0 %
合 計	41 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<医療健康学部 作業療法学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	スポーツ	1後	1								兼1	履修希望者なしのため未開講(25) 教育体制充実の理由により、教員を追加(25) 教育体制充実の理由により、教員を追加(25)
	スポーツ理論	2前	2								兼1	
	レクリエーション活動Ⅰ	1前		1							兼1	
	レクリエーション活動Ⅱ	1後		1							兼1	
	英語Ⅰ	1前	1								兼 <del>4</del> 5	
	英語Ⅱ	1前	1								兼 <del>4</del> 5	
	英語Ⅲ	1後	1								兼4	
	英語Ⅳ	1後	1								兼4	
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2前		1							兼2	
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2後		1							兼2	
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2前		1							兼1	
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2後		1							兼1	
	医学英語	3前		1							兼1	
	情報処理演習Ⅰ	1前	1								兼1	
	情報処理演習Ⅱ	1後		1							兼1	
	基礎演習Ⅰ	1前	1				1	2	1			
	基礎演習Ⅱ	1後	1				1	2	1			
小計(17科目)	—	—	10	8	0	0	1	2	1	0	兼 <del>14</del> 12	
主題科目	ボランティア入門	1前	2								兼1	履修希望者なしのため未開講(25) 教育体制充実の理由により、教員を追加(25)
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1				2	1		兼1	
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1				2	1		兼1	
	統計学	3後		1							兼1	
	自然科学Ⅰ(生物系)	1前		2							兼1	
	自然科学Ⅱ(物理系)	1前		2							兼1	
	自然科学Ⅲ(数学系)	1後		2							兼1	
	自然科学Ⅳ(化学系)	1後		2							兼1	
	自然科学概論	1前		2							兼1	
	環境論	2後		2							兼1	
	自然地理	3前		2							兼1	
	社会学	2後		2							兼1	
	ソーシャルワーク論Ⅰ	3前		2							兼1	
	ソーシャルワーク論Ⅱ	4後		2							兼1	
	介護福祉論Ⅰ	3前		2							兼1	
	介護福祉論Ⅱ	4後		2							兼1	
	高齢者福祉論	1前		2							兼 <del>4</del> 2	
	障害者福祉論	1後		2							兼1	
	法学(憲法)Ⅰ	2前		2							兼1	
	法学Ⅱ	2後		2							兼1	
医療関係法	3後		2							兼1		
美術	1後		2							兼1		
日本文学Ⅰ	2前		2							兼1		
日本文学Ⅱ	2後		2							兼1		
日本史Ⅰ	1後		2							兼1		



科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 展開 科目	検査・測定論Ⅱ	2後	1				1	2	1			
	検査・測定実習Ⅰ	2前	1				1	2	1			
	検査・測定実習Ⅱ	2後	1				1	2	1			
	作業療法治療学Ⅰ(身体)	2前	2			1	2					
	作業療法治療学Ⅱ(中枢1)	2前	2			1	1	1				
	作業療法治療学Ⅲ(中枢2)	2後	2			1	1	1				
	作業療法治療学Ⅳ(精神障害)	2後	2				1					
	作業療法治療学Ⅴ(内部障害)	3前	1			1						
	作業療法治療学Ⅵ(老年期)	3前	1						1			
	作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)	3前	1			1	1	1				
	作業療法治療学Ⅷ(発達障害)	3前	1				1					
	作業療法治療学Ⅸ(職業前)	3前	1						1			
	作業療法治療学実習Ⅰ(身体)	2前	1			1	2					
	作業療法治療学実習Ⅱ(中枢1)	2前	1			1	1	1				
	作業療法治療学実習Ⅲ(中枢2)	2後	1			1	1	1				
	作業療法治療学実習Ⅳ(精神障害)	2後	1			1	1					
	義肢装具学	3前	2				1					
	義肢装具実習	3後	1				1					
	日常生活活動学	2前	2			1	1					
	日常生活活動実習	2後	1			1	1					
	スポーツリハビリテーション	3後		1							兼1	
	作業学Ⅰ(木工・陶芸等)	3前		1				1	1			
	作業学Ⅱ(革細工・籐細工等)	3前		1					1	1		
	地域リハビリテーション	3前	2			1						
	生活環境学	3前	1				1					
	リハビリテーション関連機器	3後	1				1					
	地域福祉論	3前		2							兼1	
	臨床評価実習	3通年	4			2	2	2	1			
	臨床実習Ⅰ	4前	8			2	2	2	1			
	臨床実習Ⅱ	4前	8			2	2	2	1			
	見学実習	1~2通	1			2	2	2	1			
	基礎実習	2~3通	4			2	2	2	1			
	客観的臨床能力評価	2~4通	1			2	2	2	1			
	基礎ゼミⅠ	3前	1			3	2	2				
	基礎ゼミⅡ	3前		1		3	2	2				
	卒業研究ゼミⅠ	3後	1			3	2	2				
	卒業研究ゼミⅡ	4後	1			3	2	2				
	卒業論文	3後~4通	3			3	2	2				
	総合学習	4後	1			3	2	2	1			
	小計(46科目)	—	71	8	0	3	2	2	1	0	兼2	—
	合計(129科目)	—	115	83	0	4	2	2	1	0	兼4	教育体制充実の理由により、教員を追加(25)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)

- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 80	科目 49	科目 0	科目 129	科目 80 [ 0 ]	科目 49 [ 0 ]	科目 0 [ 0 ]	科目 129 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目 ※該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	金城大学短期大学部と 共用			
	校舎敷地	0 m <sup>2</sup>	84,538.00 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	84,538.00 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	0 m <sup>2</sup>	18,511.00 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	18,511.00 m <sup>2</sup>				
	小 計	0 m <sup>2</sup>	103,049.00 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	103,049.00 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	9,197.81 m <sup>2</sup>	1,978.00 m <sup>2</sup>	11,175.81 m <sup>2</sup>				
	合 計	0 m <sup>2</sup>	112,246.81 m <sup>2</sup>	1,978.00 m <sup>2</sup>	114,224.81 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	金城大学短期大学部と 共用 建設設計と登記上の面積の誤差及び算入した基準外施設的面積を訂正したため (25)				
	13,937.88 <del>14,017.13</del> m <sup>2</sup>	2,929.48 <del>6,184.40</del> m <sup>2</sup>	8,911.94 <del>9,294.89</del> m <sup>2</sup>	25,779.30 <del>29,496.42</del> m <sup>2</sup>					
	13,937.88 <del>14,017.13</del> m <sup>2</sup>	2,929.48 <del>6,184.40</del> m <sup>2</sup>	8,911.94 <del>9,294.89</del> m <sup>2</sup>	25,779.30 <del>29,496.42</del> m <sup>2</sup>					
				(29,496.42) m <sup>2</sup>					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	31 室	13 室	12 室	1 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		届出学科全体			
	医療健康学部 作業療法学科			9 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書20,000冊 機械・器具3,000点 教育環境の向上等を考 え見直したため (25) 国内外雑誌が一部廃刊 となり、購入不可と なったため (25)	
		医療健康学部 作業療法学科	4,864 [241] (4,744[202]) <del>(4,664 [201])</del>	62 [17] (57[16]) <del>(62 [17])</del>	5 [5] (5 [5])	260 (260)	2,400 2,332 <del>(2,100)</del>		32 (32)
	計	4,864 [241] (4,744[202]) <del>(4,664 [201])</del>	62 [17] (57[16]) <del>(62 [17])</del>	5 [5] (5 [5])	260 (260)	2,400 2,332 <del>(2,100)</del>	32 (32)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	673.93 m <sup>2</sup>		212 席		78,000 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	2,722.39 m <sup>2</sup>		テニスコート7面		多目的グラウンド1面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費に電子ジャーナルの整備費(運用コスト等を含む)を含む。 教育環境の向上等を考 え見直したため (25)
		教員1人当り研究費等	500 千円	500 千円	図書購入費	4,012 <del>3,000</del> 千円	1,000 千円	1,000 千円	
	共同研究費等	5,000 千円	5,000 千円	設備購入費	43,308 <del>30,000</del> 千円	2,500 千円	2,500 千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,770 千円	1,500 千円	1,500 千円	1,500 千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、補助金収入、資産運用収入等で充当						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	金城大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
医療健康学部理学療法学科	4	65	—	305	学士 (理学療法学)	1.05	平成19年度	石川県白山市 笠間町1200番地	
社会福祉学部社会福祉学科 社会福祉専攻	4	140	5	630	学士 (社会福祉学)	0.70	平成12年度		
社会福祉学部社会福祉学科 こども専攻	4	50	5	210	学士 (社会福祉学)	1.09	平成19年度		
大学の名称	金城大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
幼児教育学科	2	150	—	300	短期大学士 (幼児教育)	1.09	昭和51年度	石川県白山市 笠間町1200番地	
美術学科	2	65	—	130	短期大学士 (美術)	0.93	昭和51年度		
ビジネス実務学科	2	135	—	270	短期大学士 (ビジネス実務)	0.87	昭和59年度		
幼児教育学科専攻科 福祉専攻	1	40	—	40		0.55	平成10年度		
留学生別科	1	20	—	20		0.20	平成16年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)について, それぞれの学校種ごとに, 平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際, AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医療健康学部 作業療法学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	コヤマ ショウ 小山 善子	平成25年4月	精神医学 生命と医療の倫理 神経内科学Ⅰ 神経内科学Ⅱ 老年学						
専	教授	サワ シュンジ 澤 俊二	平成27年4月	リハビリテーション概論 作業療法概論 作業療法教育管理学 作業療法研究法 作業療法評価概論 地域リハビリテーション 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習						
専	教授	モリ ケイジ 森 啓至	平成25年4月	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習						
専	教授	コウノ ミツノブ 河野 光伸	平成25年4月	リハビリテーション概論 作業療法概論 基礎作業療法 作業療法教育管理学 作業療法研究法 作業療法評価概論 作業療法治療学Ⅰ(身体) 作業療法治療学Ⅱ(中枢1) 作業療法治療学Ⅲ(中枢2) 作業療法治療学Ⅴ(内部障害) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢1) 作業療法治療学実習Ⅲ(中枢2) 作業療法治療学実習Ⅳ(精神障害) 日常生活活動学 日常生活活動実習 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	イガリ 猪狩 もとみ	平成25年4月	基礎作業療法学 作業療法治療学Ⅰ(身体) 作業療法治療学Ⅱ(中枢1) 作業療法治療学Ⅲ(中枢2) 作業療法治療学Ⅳ(精神障害) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能) 作業療法治療学Ⅷ(発達障害) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢1) 作業療法治療学実習Ⅲ(中枢2) 作業療法治療学実習Ⅳ(精神障害) 義肢装具学 義肢装具実習 日常生活活動学 日常生活活動実習 生活環境学 リハビリテーション関連機器 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習						
専	准教授	イヌマル トシヤス 犬丸 敏康	平成25年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 運動学Ⅰ 運動学Ⅱ 運動学実習 病態運動学 検査・測定論Ⅰ 検査・測定論Ⅱ 検査・測定実習Ⅰ 検査・測定実習Ⅱ 作業療法治療学Ⅰ(身体) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体) 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習						
専	講師	ワナベ トヨアキ 渡邊 豊明	平成25年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 検査・測定論Ⅰ 検査・測定論Ⅱ 検査・測定実習Ⅰ 検査・測定実習Ⅱ 作業学Ⅰ(木工・陶芸等) 作業学Ⅱ(革細工・籐細工等) 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	サカノ 酒野 ナオキ 直樹	平成25年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 運動学Ⅰ 運動学Ⅱ 運動学実習 病態運動学 検査・測定論Ⅰ 検査・測定論Ⅱ 検査・測定実習Ⅰ 検査・測定実習Ⅱ 作業療法治療学Ⅱ(中枢1) 作業療法治療学Ⅲ(中枢2) 作業療法治療学Ⅵ(老年期) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能) 作業療法治療学Ⅷ(職業前) 作業療法治療学Ⅸ(中枢1) 作業療法治療学Ⅹ(中枢2) 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 卒業研究ゼミⅠ 卒業研究ゼミⅡ 卒業論文 総合学習						
専	助教	カワグチ 川口 トモコ 朋子	平成25年4月	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ 検査・測定論Ⅰ 検査・測定論Ⅱ 検査・測定実習Ⅰ 検査・測定実習Ⅱ 作業学Ⅰ(木工・陶芸等) 作業学Ⅱ(革細工・籐細工等) 臨床評価実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 見学実習 基礎実習 客観的臨床能力評価 総合学習						
兼任	教授 (学長) (学部長)	ナラ 奈良 イサオ 勲	平成25年4月	リハビリテーション概論						
兼任	教授	マツシタ 松下 タカフミ 篤信	平成25年10月	スポーツ						
兼任	准教授	タケコシ 竹腰 アツシ 敦	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ 言葉と文化(英語)Ⅰ 言葉と文化(英語)Ⅱ						
兼任	教授	ソ 蘇 ヒロシ 哲	平成26年4月	言葉と文化(中国語)Ⅰ 言葉と文化(中国語)Ⅱ 東洋史						
兼任	助教	スギモリ 杉森 キミカズ 公一	平成25年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 統計学 自然科学Ⅰ(生物系)	兼任 講師 兼任	スギモリ 杉森 キミカズ 公一	平成25年4月	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 統計学 自然科学Ⅰ(生物系)	平成25年4月より非常勤講師となったため兼任教員に変更(25)	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	ウチ内 ケイスズイ 慶瑞	平成25年4月	ボランティア入門 ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ	兼任	教授 <del>准教授</del>	ウチ内 ケイスズイ 慶瑞	平成25年4月	ボランティア入門 ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ	昇格により職名を変更(25)
兼任	助教	キムラ ツヨシ 剛	平成25年4月	自然科学Ⅱ(物理系) 自然科学Ⅲ(数学系)						
兼任	教授	カワベ ヒロユキ 弘之	平成25年4月	自然科学Ⅳ(化学系) 自然科学概論						
兼任	准教授	タカシマ テモセ 智世	平成26年10月	社会学						
兼任	教授	スギヤマ マサキ 正樹	平成25年4月	ソーシャルワーク論Ⅰ ソーシャルワーク論Ⅱ 高齢者福祉論						
兼任	教授	コバヤシ テモエ子	平成27年4月	介護福祉論Ⅰ 介護福祉論Ⅱ ケアマネジメント						
兼任	教授	オカモリ セイゴ 正吾	平成25年10月	障害者福祉論						
兼任	教授	カノウ シンイチ 真一	平成26年4月	法学(憲法)Ⅰ 法学Ⅱ 医療関係法						
兼任	教授	タチ ソウイチロウ 惣一良	平成26年4月	日本文学Ⅰ 日本文学Ⅱ						
兼任	教授	カノウ ヒロシ 宏志	平成25年10月	日本史Ⅰ 日本史Ⅱ						
兼任	准教授	サトウ カオリ 香緒里	平成25年4月	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅲ 解剖学Ⅳ 解剖学実習	兼任	准教授	サトウ カオリ 香緒里	平成25年4月	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅲ 解剖学Ⅳ 解剖学実習 生理学実習	生理学実習の担当を追加(25)
兼任	助教	ヤマモト タクヤ 拓哉	平成25年4月	解剖学実習	兼任	助教	ヤマモト タクヤ 拓哉	平成25年4月	解剖学実習 生理学実習	生理学実習の担当を追加(25)
兼任	教授	オクダ ヒロキ 裕紀	平成25年4月	人間発達学 心理学 高齢者の心理 障害者の心理						
兼任	教授	ヒラグチ マリ 真理	平成26年4月	臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅱ						
兼任	教授	タカバタケ トシカズ 利一	平成25年10月	内科学Ⅰ 内科学Ⅱ 安全管理 感染防御						
兼任	准教授	テラオ ケンジ 研二	平成26年4月	整形外科Ⅰ 整形外科Ⅱ						
兼任	准教授	カラスヤマ ズキ 亜紀	平成26年4月	小児科学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	キバヤシ ツトム 木林 勉	平成25年4月	リハビリテーション概論						
兼任	助教	ニシ カヨコ 西 郁代子	平成28年4月	地域福祉論						
					兼任	講師	ノムラ トモヒロ 野村 智宏	平成25年4月	高齢者福祉論	科目担当教員を追加したことにより、新たに就任(25)
兼任	講師	ドウカイ サトシ 百海 智	平成26年4月	スポーツ理論						
兼任	講師	ハタケ ノリコ 畠 紀子	平成25年4月	レクリエーション活動Ⅰ レクリエーション活動Ⅱ						
兼任	講師	オオツカ イフオ 大塚 巖	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	コハラ フンエイ 小原 文衛	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	ウカジ マサコ 宇梶 昌子	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	キンバリー キーフ Kimberly Keef	平成26年4月	言葉と文化(英語)Ⅰ 言葉と文化(英語)Ⅱ						
兼任	講師	ナガサカ テツオ 永坂 鉄夫	平成25年4月	医学英語 健康科学						
兼任	講師	カノウ ヒロシ 加藤 博	平成26年10月	環境論						
兼任	講師	ハヤシ 賢ト 林 賢人	平成27年4月	自然地理						
兼任	講師	クロカワ タケト 黒川 威人	平成25年10月	美術						
兼任	講師	カサイ ミチキ 葛西 道生	平成26年10月	病理学						
兼任	講師	ミノワ エミコ 箕輪 恵美子	平成27年10月	カウンセリング演習						
兼任	講師	アサヒ トシアキ 旭 敏秋	平成25年10月	医学概論						
兼任	講師	オカダ シゲル 岡田 茂	平成25年4月	公衆衛生学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	マルタ カズオ 丸田 和夫	平成25年10月	リハビリテーション医学						
兼任	講師	マツウラ マリコ 松浦 万里子	平成25年4月	社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ						
兼任	講師	コウベ アキオ 神戸 晃男	平成27年10月	スポーツリハビリテーション						
					兼任	講師	クマタ キャロリン 熊田 Carolyn	平成25年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	科目担当教員を追加したことにより、新たに就任(25)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
4	2	2	1	9	4	2	2	1	9	65	1
(3)	(2)	(2)	(1)	(8)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
該当なし			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			
------	--	--	--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等 ※ 該当なし

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



授業面や福利厚生面等に係る意見交換を行った。また、新任教職員研修については、毎年、新任の教職員を対象に年度当初に実施している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業アンケートについては、学内ホームページによる結果公開を行っている。また、公開授業については、参観者の増加及び参観者コメントの利用促進を図り、授業改善につなげている。平成24年度FD研修では、中央教育審議会の答申等も踏まえ、授業改善に直接役立つ方法や学習支援方策等に関する研修会を開き、各教員が個々の授業、学生支援に活かしている。また、学生との意見交換の結果を踏まえ、学長、学部長、企画調査委員会が主導して授業改善、学生指導等に係る取組の改善を継続して実施していくなどとして、引き続き教員の質的向上を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

上記にも記載した通り、学生による授業アンケートについては、毎年、前期（7月）、後期（1月）に実施（非常勤講師を含む。）している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

上記にも記載した通り、授業アンケートの結果について、教職員に対しては教授会での全体報告に加え、教員個人向けの結果通知も行い、今後の授業改善等に役立つよう周知、活用している。また、学生・教職員に対しては、学内ホームページを通じて随時結果を閲覧し、意見等を述べられるよう体制を整備している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙（添付資料3）のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年6月

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を作成し、近隣の大学を中心とした高等教育機関及び希望のある利害関係者に配付予定  
・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・1回目の認証評価は、平成20年度に財団法人日本高等教育評価機構を受審しており、2回目の認証評価は、平成27年度に受審することを予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

( 有 ・ 無 )

※平成25年度開設のため

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 年 月 日 )

※検討中